

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2020-5544  
(P2020-5544A)

(43) 公開日 令和2年1月16日(2020.1.16)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
<b>C 1 2 N 15/115 (2010.01)</b>	C 1 2 N 15/115 Z	4 B O 6 3
<b>C 1 2 Q 1/6811 (2018.01)</b>	C 1 2 Q 1/6811 Z N A Z	
<b>G O 1 N 33/532 (2006.01)</b>	G O 1 N 33/532 A	

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 24 頁)

(21) 出願番号	特願2018-128424 (P2018-128424)	(71) 出願人	598015084 学校法人福岡大学 福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号
(22) 出願日	平成30年7月5日(2018.7.5)	(74) 代理人	100100158 弁理士 鮫島 睦
		(74) 代理人	100122297 弁理士 西下 正石
		(74) 代理人	100145104 弁理士 膝舘 祥治
		(72) 発明者	福田 将虎 福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号 学校法人福岡大学内
		(72) 発明者	佐藤 慎一 京都府京都市左京区吉田本町36番地1 国立大学法人京都大学内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 タンパク質標的核酸アプタマー、その製造方法、及び標的タンパク質の検出方法

(57) 【要約】

【課題】 標的タンパク質を生細胞内で検出可能なタンパク質標的核酸アプタマー及び標的タンパク質の検出方法を提供する。

【解決手段】 タンパク質標的核酸アプタマーは、ステム-ループ構造を形成して蛍光クエンチャーを認識する第1オリゴヌクレオチドと、第1オリゴヌクレオチドの5'側に配置される第2オリゴヌクレオチドと、第1オリゴヌクレオチドの3'側に配置される第3オリゴヌクレオチドとを含み、第2オリゴヌクレオチド及び第3オリゴヌクレオチドが協同して標的タンパク質を認識する。標的タンパク質の検出方法は、タンパク質標的核酸アプタマーを、蛍光クエンチャーを含む蛍光プローブの存在下に標的タンパク質と接触させることを含む。

【選択図】 図1

